

コロンビア国
「地すべり・洪水のモニタリング
および早期警報システムにかかる調査」
事前調査報告書

平成17年9月
(2005年)

独立行政法人 国際協力機構
(地球環境部)

環 境
J R
05-052

序 文

コロンビア国は、1999年に犠牲者約2,000人を出したアルメニア地震に代表される地震大国であり、加えて急峻な地形と雨季の豪雨による地すべり・洪水等の自然災害により人命・財産が奪われるとともに、社会経済発展を阻害されてきた。コロンビア共和国政府は、このような状況を改善するために、社会開発の一環として防災対策に力をいれてきた。その活動の一部として、わが国はコロンビア共和国政府の要請に応じ、開発調査「ボゴタ首都圏防災対策基本計画調査」を2001年3月から2002年3月にかけて実施し、首都ボゴタ市を中心とするボゴタ首都圏の防災対策に関する基本計画を策定した。

わが国は、上記調査の成果も踏まえ、コロンビア共和国政府の新たな要請にもとづき、ボゴタ市周辺の地すべり、洪水、土石流に対するモニタリングと早期警報システム構築を目的とした開発調査「地すべり・防災のモニタリングおよび早期警報システムにかかる調査」の実施を決定した。本件調査を円滑に進めるため、2004年11月から12月にかけて詳細情報収集のために派遣された予備調査に続き、2005年8月21日から9月14日までの25日間にわたり、独立行政法人国際協力機構地球環境部課題アドバイザー大井英臣氏を団長とする事前調査団（S/W協議）を現地に派遣した。

調査団は、本件の背景を確認するとともにコロンビア共和国政府の意向を聴取し、かつ現地踏査の結果を踏まえ、本格調査に関するS/Wに署名した。

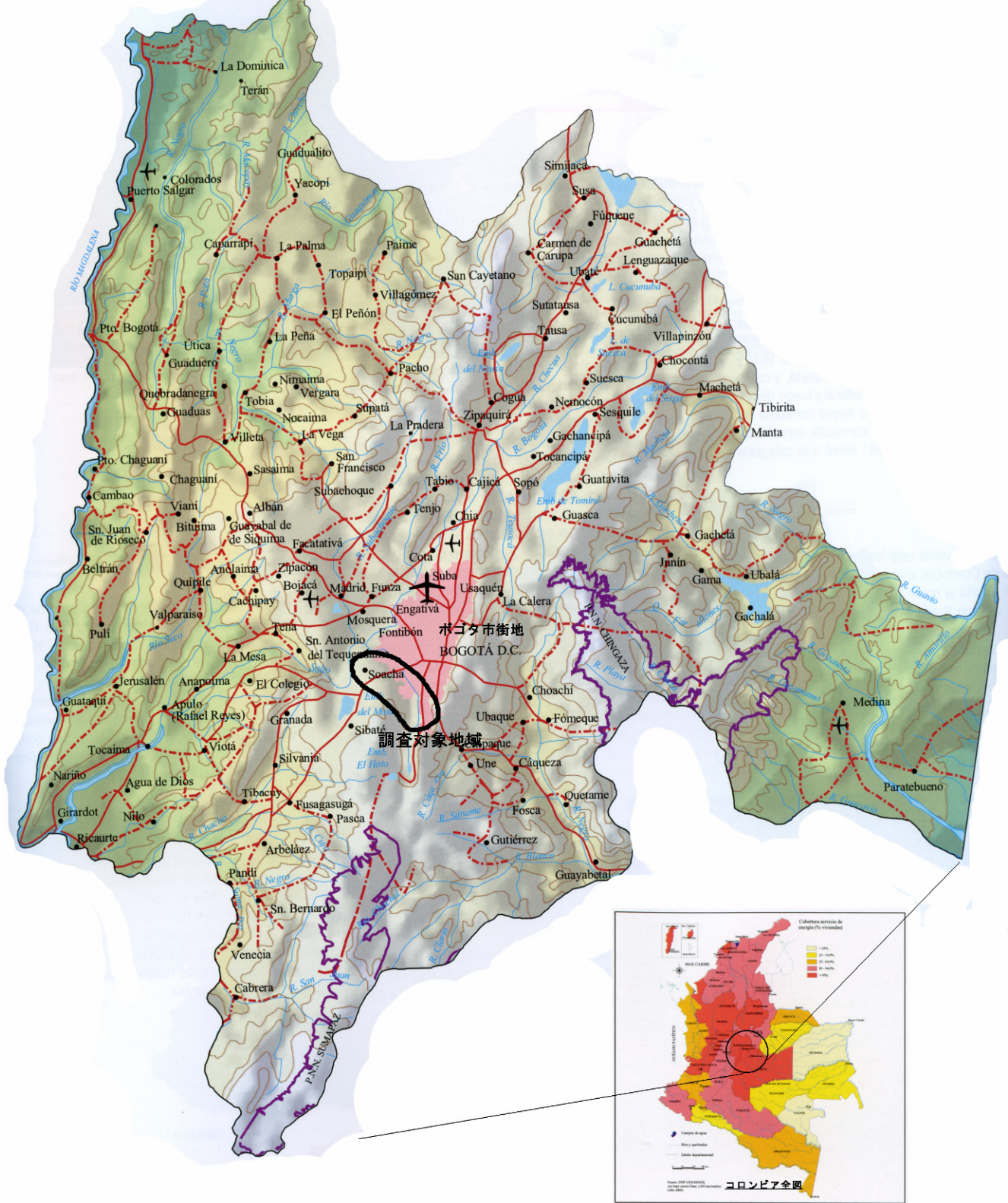
本報告書は、今回の調査を取りまとめるとともに、引き続き実施を予定している本格調査に資するためのものである。

ここに、調査にご協力いただいた関係各位に対し深く謝意を表するとともに、引き続き一層のご支援をお願いする次第である。

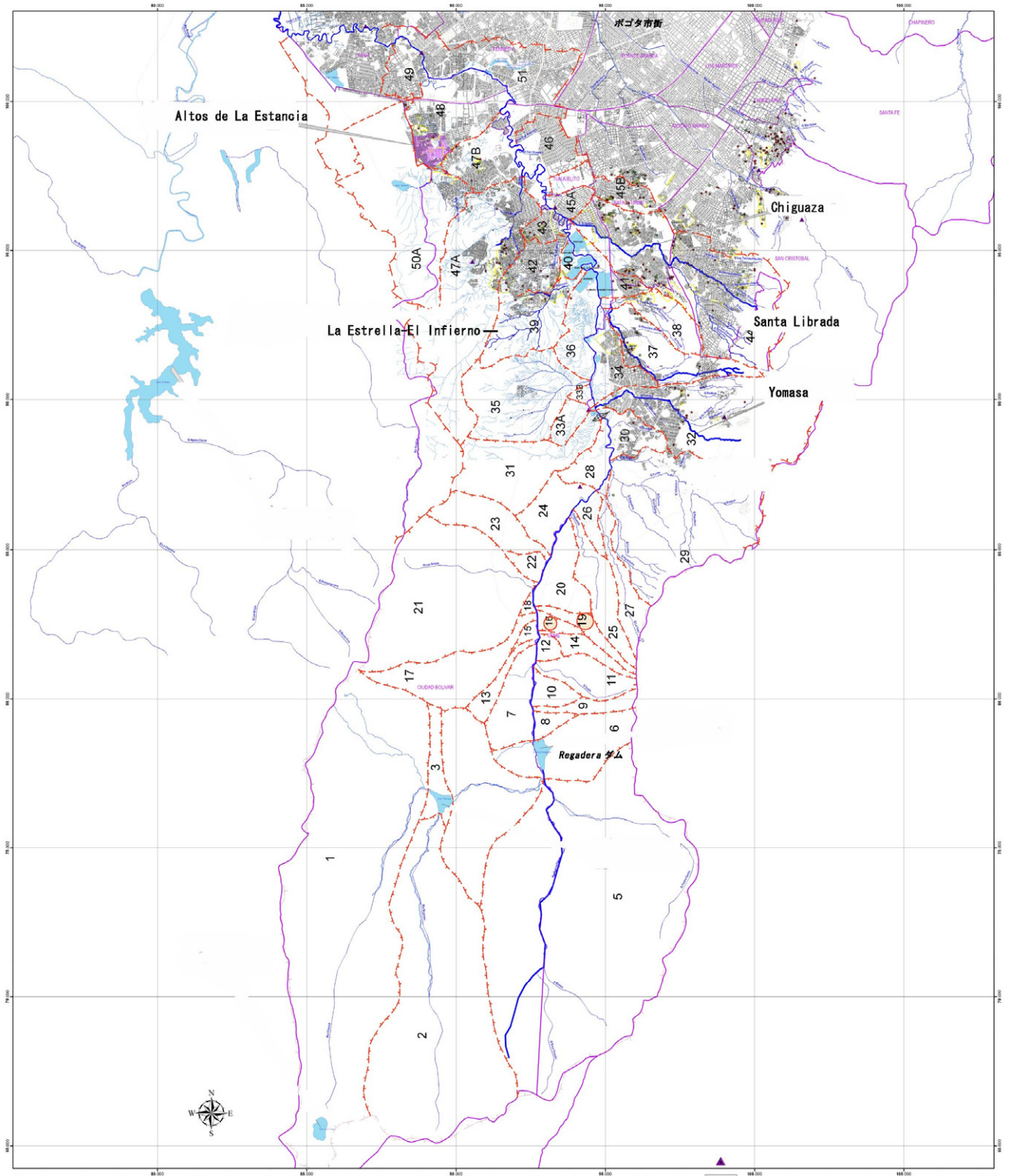
平成17年9月

独立行政法人 国際協力機構
地球環境部長 富本 幾文

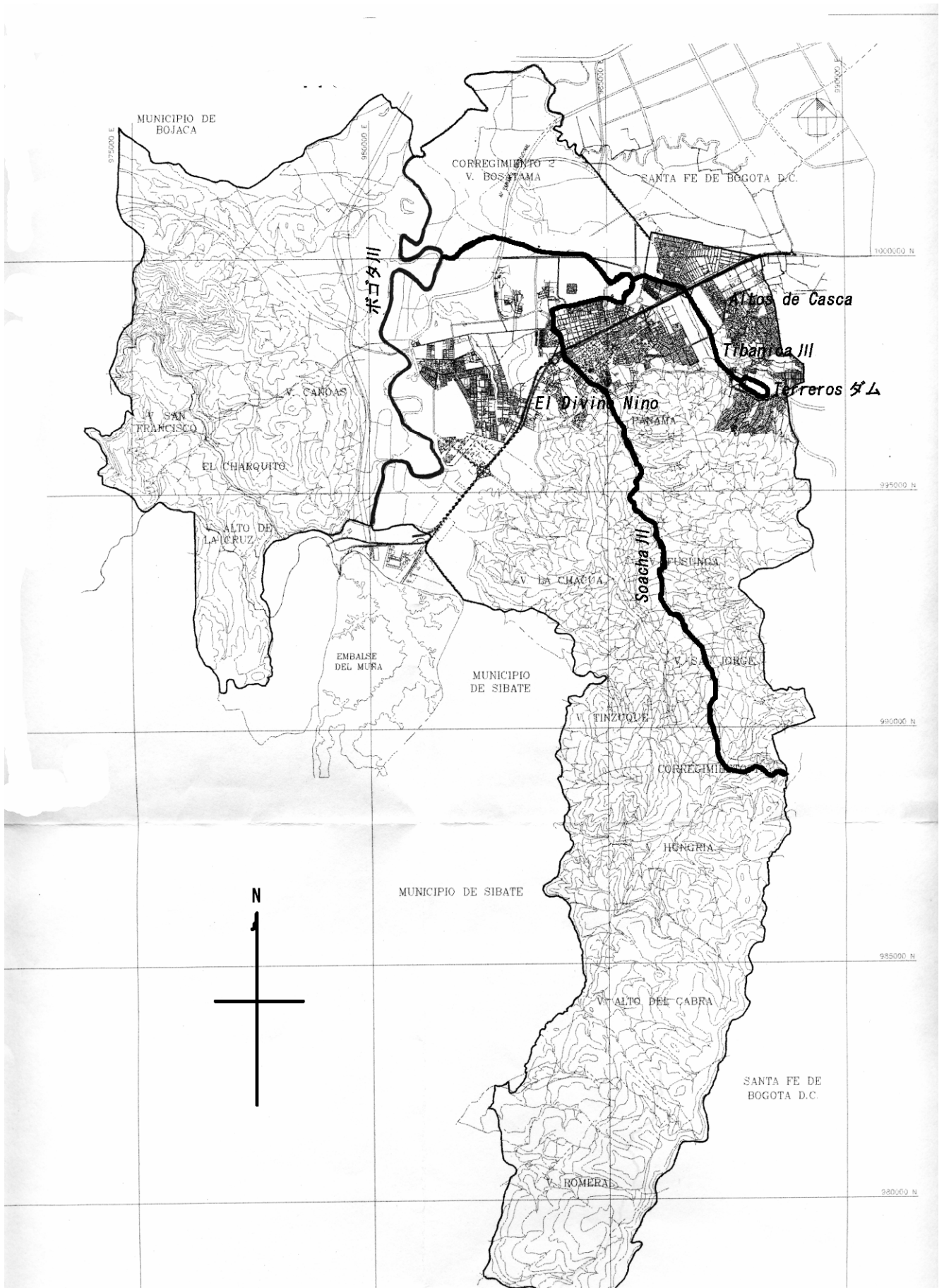
クンディナマルカ件全図



調査対象地域位置図（全体図）



調査地域位置図 (Tunjuelo 川流域)



調査地域位置図 (Soacha)